

平成11年7月9日

「日本の原子力の原点について」の講演と自由討論の会
ご 案 内

財団法人 原子力安全研究協会



放射線被ばく者医療活動と放射線利用やエネルギー利用に代表される原子力の平和利用とを有機的に結びつけていくことは、原子力の平和利用に対する不安を払拭し、これを発展させていくためにきわめて重要です。特に、日本がこれまでに培ってきた放射線被ばく者医療に関する知見やノウハウを生かしてこれを実践し、世界に向けて発信していくことは原爆被災国であり資源小国である日本の世界に対する責務とも考えられます。

この様な観点から、このたびセミパラチンスクへの医療調査や援助等の医療活動を中心的に推進している広島・長崎の医療関係者と原子力の平和利用を進める産・官の代表者とが一同に会する標記の会を下記の通り開催することと致しましたので、ご参加下さいますようお願い致します。

記

1. 日 時：平成11年7月22日（木） 14：00～17：00
2. 場 所：都市センターホテル 7階 701会議室（同封地図参照）
東京都千代田区平河町2-4-1（TEL 03-3265-8211（呼））
3. スピーチ予定者（敬称略）
 - （1）森 一久 （（社）日本原子力産業会議副会長）
 - （2）長瀧 重信 （（財）放射線影響研究所理事長）
 - （3）池田 高良 （長崎大学学長）
 - （4）藤家 洋一 （原子力委員会委員長代理）

なお、本会終了後、5階「スバル」にて19：00頃まで懇親会（会費：3,000円）を行いますので、ぜひご参加下さい。

本件問合せ先：

（財）原子力安全研究協会
研究部 佐藤 貞明
TEL 03-5470-1985